

花などを近くで撮影するときに使うと便利です。

設定方法

モードボタンを押しながら、セレクトダイヤルを回して、表示パネルの  に  を合わせます。

このモードで撮影を行うと、ピントの合う範囲が広がっていますので、シャープな写真が撮れます。

(1) 手動によるピント合わせ

Ⅲ 応用的な使い方

オートフォーカス用でないレンズを使う場合

オートフォーカス用でないレンズ[F・FAレンズ以外のレンズ]で、開放F値がF5.6以上の明るいレンズ[F1.2~5.6]を使うと、ファインダー内の合焦マーク  を利用した手動ピント合わせができます。

使い方

1. フォーカスモードレバーをMFにセットします。
2. ファインダーを覗きながらシャッターボタンを半押しした状態で、レンズの距離リングを左右に回してください。
3. ピントが合うとファインダー内の合焦マーク  が点灯して知らせます。そのままシャッターボタンを押し切って撮影してください。

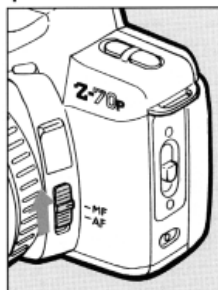
- * オートフォーカス用のレンズ[F・FAレンズ]を使用しても、フォーカスモードレバーをMFにセットすると同じ操作になります。
- * 旧タイプのねじ込み取り付け式レンズを別売りの「マウントアダプター-K」で取り付けても、ファインダー内の合焦マーク  によるピント合わせはできません。
- * ピントが合うと、ファインダー内の合焦マーク  の点灯と同時に「ビピッ」と電子音が鳴りますが、電子音を消すこともできます。70ページをご覧ください。

オートフォーカスが使えない場合

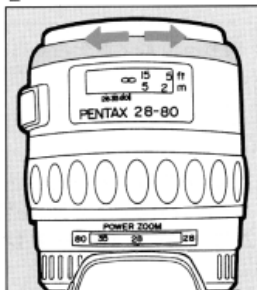
以下の理由で、オートフォーカスやファインダー内の合焦マーク  が使えない場合は、ファインダーのマット面を利用して従来の一眼レフカメラと同様に手動でピント合わせをしてください。

- 「オートフォーカスの苦手な物」で合焦マーク  が点滅するとき。
- 開放F値がF5.6より暗いレンズを使っているとき。
- ベローズ100mmF4、シフト28mmF3.5[シフト状態]、レフレックスタイプのレンズを使用したとき。
- 旧タイプのねじ込み取り付け式レンズを別売りの「マウントアダプター-K」で取り付けて使用したとき。

1



2



使い方

- フォーカスモードレバーを **MF** にセットします。
- ファインダーを覗きながら、レンズの距離リングを左右に回してファインダー内の映像が最もはっきり見えるようにピントを合わせ、撮影してください。

応用的な使い方

④5

(2) オートフォーカスの苦手な物

スナップインフォーカス撮影について

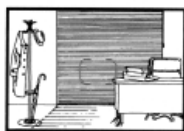
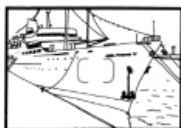
前もってピントを合わせておいた所に写したいものが来たときに、自動的にシャッターが切れるようにすることをスナップインフォーカス撮影といいます。

- レンズはオートフォーカス用でないレンズ[F・FA以外のレンズ]を使用します。
- フォーカスモードレバーを **AF** にセットします。
- 写したいものが通りそうな位置にピントを合わせます。
- ケーブルスイッチFを使って、シャッターボタンを押し切った状態にします。
- 写したいものがピントを合わせた位置に来ると、自動的に撮影されます。

オートフォーカス機構はきわめて高精度のものです。万能ではありません。写すものが47ページのような場合には、ピントが合わないことがあります。ファインダー内の合焦マーク  を利用してピント合わせを行なう手動ピント合わせも同様です。

そんなときは、写すものとはほぼ等しい距離にあるものにフォーカスロックをしたり、フォーカスモードレバーを **MF** にセットして、従来の一眼レフカメラと同様にファインダーのマット面を利用して手動ピント合わせを行なってください。フォーカスロックについては35ページを、マット面を利用したピント合わせについては45ページをご覧ください。

④6



- a) AFフレーム [C] に白い壁などの極端にコントラスト[明暗差]の低い物がある場合。
- b) AFフレーム [C] に光を反射しにくい物がある場合。
- c) 非常に速い速度で移動している物。
- d) AFフレーム [C] に横線のみ物や細かな模様の物がある場合。
- e) 遠近のものがAFフレーム [C] の中で同時に存在する場合。
- f) 反射の強い光、強い逆光[周辺が特に明るい物]。

47

アクセサリーの注意

以下の条件では、オートフォーカスやファインダー内の合焦マーク [O] を利用した手動ピント合わせができません。45ページの手順に従ってファインダー内のマット面で手動ピント合わせをしてください。

- a) 特殊なフィルターや「マジックイメージアタッチメント」・「ステレオアダプター」などを使った場合。
- b) 「接写リング」や「オートペローズ」を使った拡大接写撮影の場合。

SMCペンタックスFソフト 85mmF2.8 使用時の注意

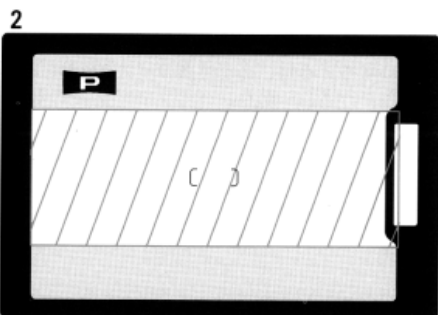
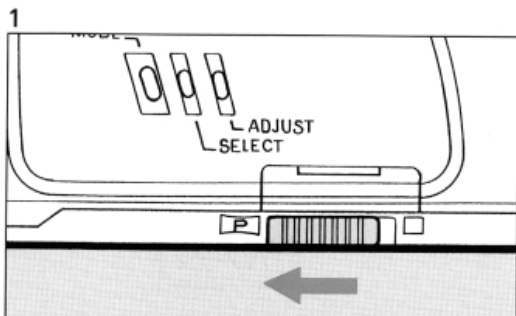
約1.5mより近距離の撮影をするときは、レンズの絞りをF2.8~4.5でご使用ください。これより小絞り[F5.6~32]にすると、カメラのオートフォーカス[ファインダー内の合焦マーク [O] を利用した手動ピント合わせも同様]が正しく働かないことがあります。F5.6より小絞りを使う場合には、一旦レンズの絞りをF4.5に合わせてピント合わせを行ない、フォーカスロックをしたまま希望の絞りに回して撮影してください。

偏光フィルターについて

オートフォーカス機構の一部にハーフミラーを使用していますので、一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスの精度が低下します。オートフォーカスで使用する際には円偏光フィルターをご利用ください。

48

(3) パノラマ撮影



このカメラでは、撮影途中でも自由にパノラマと標準撮影とを切り替えることができます。パノラマ撮影ではフィルム上で横長に写りますので、パノラマプリントにするとダイナミックな写真が楽しめます。

1. パノラマ切り替えスイッチを  に合わせるとパノラマ撮影モードになります。
2. パノラマの視野枠内[斜線部分]に写したいものを入れて撮影してください。

- * パノラマ切り替えスイッチのセットは、パノラマ撮影  か標準撮影  どちらかの止まる位置まで確実に動かしてください。スイッチを途中の位置にすると、正しく写らなくなります。
- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に  が点滅表示されます。
- * プリントする際に画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を取っておくと安心です。
- * パノラマ撮影モードでは、日付や時刻は写し込まれません。

49

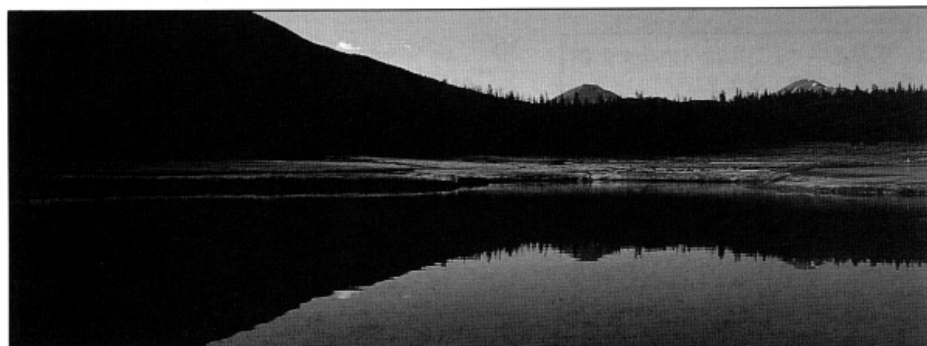
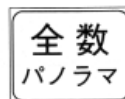
パノラマプリントについて

パノラマモードで撮影されたフィルムの現像／プリントをご依頼になるときは、必ず付属のパノラマシールをフィルム [バトローネ] に貼り、パノラマプリントとご指定ください。

- パノラマと標準撮影を途中で切り替えて撮影した場合 →



- フィルム全数をすべてパノラマで撮影した場合 →

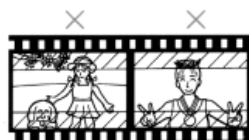


50

- パノラマモードで撮影した場合、通常の同時プリントに比べ日数、料金がかかります。詳しくは、お店でおたずねください。
- パノラマ撮影では、図のように標準撮影のフィルム1コマ分の上下をカットするだけです。撮影枚数は、標準撮影のときと同じです。



- パノラマでは、フィルム上に約13mm×36mmの大きさに画像を写し込み、プリント段階では約12mm×35mmの範囲のプリントを行います。
- パノラマプリントはおおよそ89×254mmのサイズにプリントされます。これは標準撮影されたフィルムを六ツ切りサイズに引き伸ばしたものと同倍率になります。
- 標準撮影のときは、必ずファインダー内のパノラマシグナル  が消えていることを確認してください。パノラマ撮影になっていることに気が付かず撮影すると、図のようにフィルムの上下の必要な部分がカットされてしまいます。



⑤1

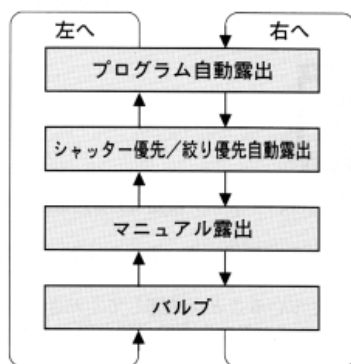
(4) 各露出モードを選びます

絞りがA位置の場合

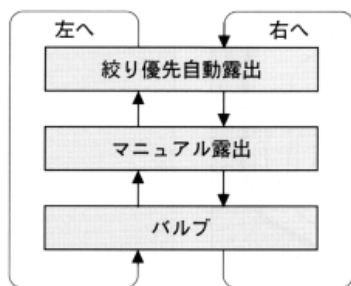
電源スイッチを **ON** [フルスベックポジション] にします。

絞りがA位置のままでも図のように露出モードを選ぶことができます。従来のように露出モードによって、絞りの位置を切り替える必要がありません。モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して選んでください。

* 電源スイッチが **PICT** の場合は、ピクチャーモードになります。ピクチャーモードについては、39ページをご覧ください。



⑤2



絞りがA位置以外の場合

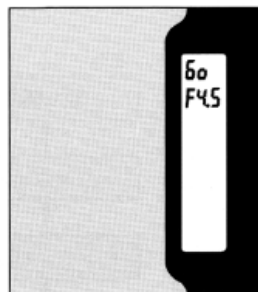
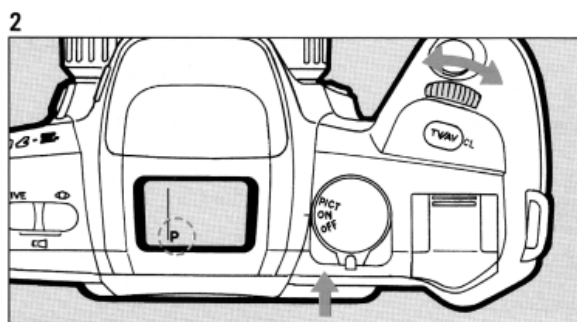
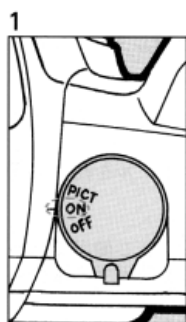
電源スイッチは **ON** [フルスベックポジション] でも **PICT** でも結構です。

絞りがA位置以外では、図のように露出モードを選ぶことができます。

モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して選んでください。

以下の場合には、絞りをA位置から外してご使用ください。なお、絞りにA位置のないレンズを使用する場合も同様の扱いになります。

- 接写リングなど、絞りの連動がきかないアクセサリーを使用した場合。
- 旧タイプのストロボで、絞りがA位置で使えないもの。



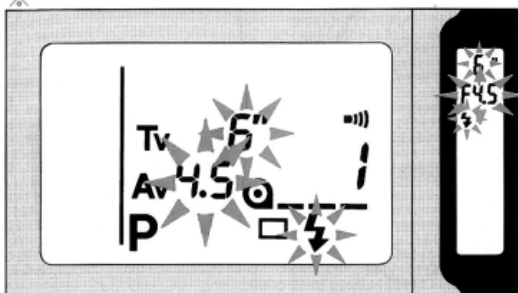
プログラム自動露出の使い方

プログラム自動露出は、カメラが自動的に露出を決定しますので、シャッターボタンを押すだけで簡単に撮影が楽しめます。

絞りをA位置にします。

1. 電源スイッチを **ON** にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに **P** のマークを出します。

* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と表示パネルにシャッター速度と絞り値が表示されます。

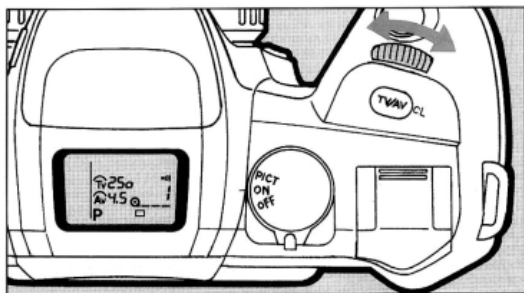


※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のようにファインダー内や表示パネルのシャッター速度と絞り値表示が点滅して警告します。明るすぎるときは、NDフィルター[光量を減らすフィルター]などをご利用ください。暗すぎるときは、ストロボなどをご利用ください。

プログラム自動露出のプログラムシフト

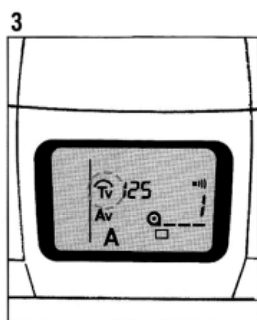
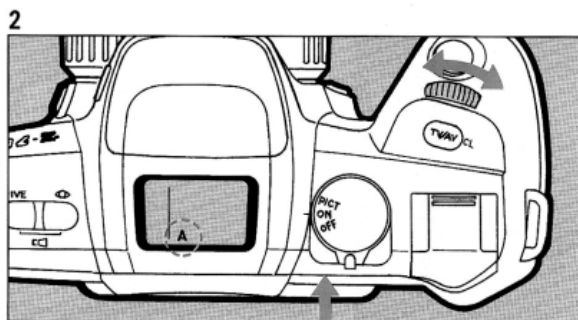
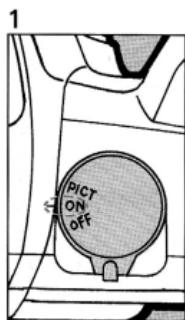
プログラムシフトとは、露出を変えずにシャッター速度と絞りの組み合わせだけを変えて、写真の効果を変えることです。写真の効果については、86、87ページをご覧ください。



セレクトダイヤルを右に回すとシャッター速度が速い方向[絞りは開放側]に、左に回すとシャッター速度が遅い方向[絞りは小絞り側]に変化します。

- * プログラムシフトを行うと、表示パネルのTvとAvマークの上に  が付いて知らせます。また、ファインダー内のシャッター速度と絞り値の下に横棒が点灯して知らせます。
- * プログラムシフトを解除するときには、Tv/Avボタンを押してください。
- * プログラムシフトは、適正露出が得られる範囲内だけでしかできません。

55



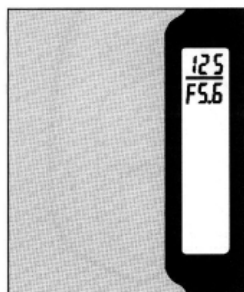
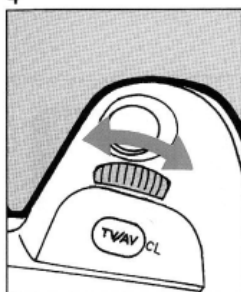
シャッター優先自動露出の使い方

希望のシャッター速度に合わせると、写したい物の明るさに応じて絞りが自動的に変わり、適正露出が得られます。速い速度で動きを止めたり、遅い速度で動感を出すのに適しています。シャッター速度の効果については、86ページをご覧ください。

絞りをA位置にします。

1. 電源スイッチを **ON** にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに **A** を表示させます。
3. Tv/Avボタンを押して表示パネルのTvマークの上に  を表示させます。

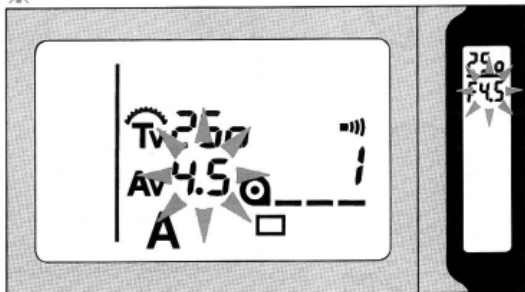
56



4. セレクトダイヤルでシャッター速度を変えます。

* ファインダー内のシャッター速度表示の下に横棒が表示されます。

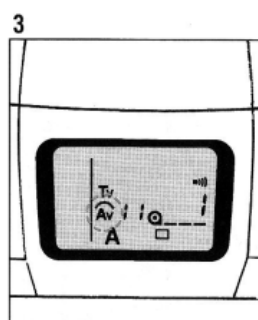
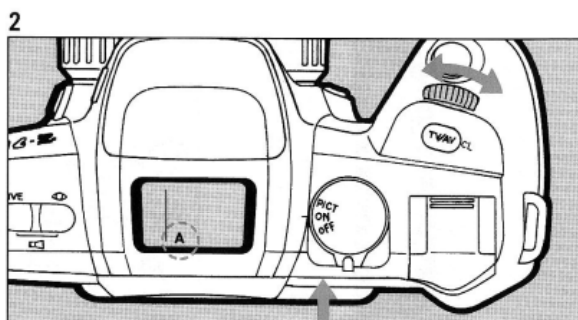
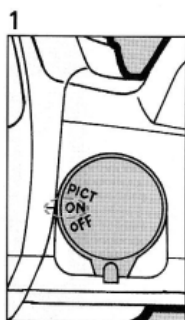
* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と表示パネルにシャッター速度と、絞り値が表示されます。ただし、表示パネルのシャッター速度は電源スイッチが「ON」であれば常に表示され続けます。



※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のようにファインダー内や表示パネルの絞り値表示が点滅して警告します。明るすぎるときはシャッター速度を速く、暗すぎるときはシャッター速度を遅くして点滅が止まれば撮影できます。

なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅した場合は測光範囲外ですから、シャッター速度を変えても適正露出は得られません。明るいときはNDフィルター[光量を減らすフィルター]、暗い場合にはストロボなどをご利用ください。

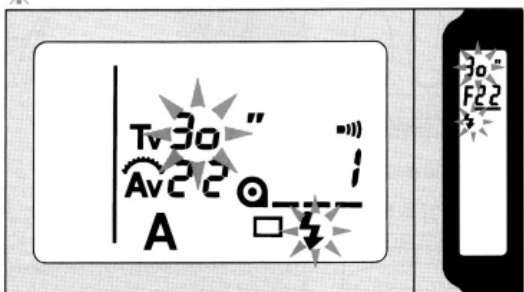
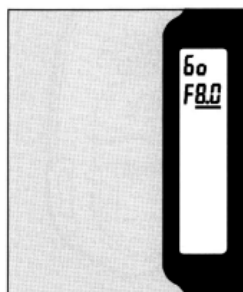


絞り優先自動露出の使い方

希望の絞りを合わせると、写す物の明るさに応じてシャッター速度が自動的に変わって適正露出が得られます。ピントの合う範囲を広くしたい風景写真や、背景をぼかしたい人物の撮影などに適しています。絞りの効果については、87 ページをご覧ください。

絞りA位置の場合

1. 電源スイッチを「ON」にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに「A」を表示させます。
3. Tv/Avボタンを押して表示パネルのAvマークの上に「」を表示させます。



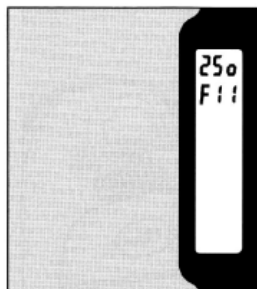
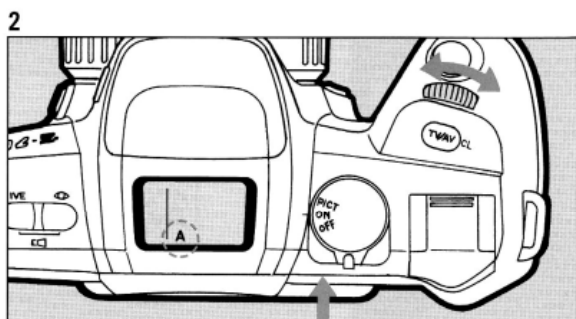
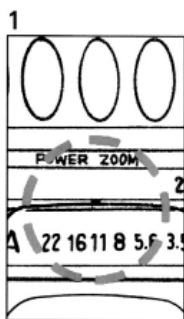
4. セレクトダイヤルで絞りを変えます。

- * ファインダー内の絞り値表示の下に横棒が表示されません。
- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と表示パネルにシャッター速度と、絞り値が表示されます。ただし、表示パネルの絞り値表示は電源スイッチが **ON** であれば常に表示され続けます。

※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のようにファインダー内や表示パネルのシャッター速度表示が点滅して警告します。明るすぎるときは絞りを小絞り側[数字の大きい方]に、暗すぎるときは絞りを開放側[数字の小さい方]にして点滅が止まれば撮影できます。

なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅した場合は測光範囲外ですから、絞り値を変えても適正露出は得られません。明るいときはNDフィルター[光量を減らすフィルター]、暗い場合にはストロボなどをご利用ください。



絞りがA位置以外の場合[電源スイッチは **ON** でも **PICT** でも結構です]

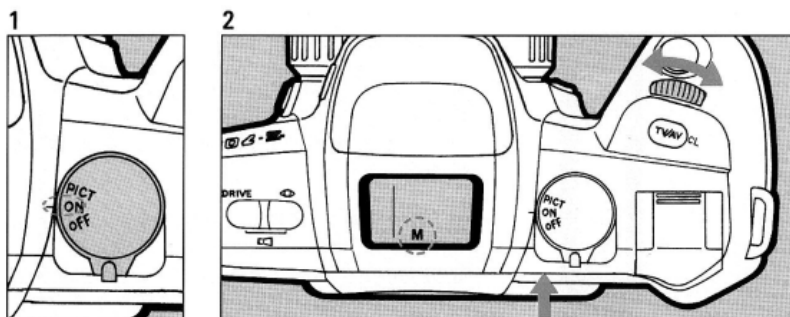
絞りがA位置以外でも絞り優先自動露出が使えます。

1. 絞りをA位置以外の好みの位置にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに **A** のマークを出します。

- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と表示パネルにシャッター速度が表示されます。
- * FAおよびFLレンズの場合、シャッターボタンを半押しすると表示パネルとファインダー内に設定絞りの目安表示をします。他のレンズの場合は、表示されません。
- * レンズ情報接点のないレンズ[A・F・FAレンズ以外]では、分割測光にならず中央重点測光になります。
- * Aレンズ50mmF1.2の場合、絞りA位置以外では分割測光にならず中央重点測光になります。また、露出が1～1.5 EVオーバーになりますので、絞りをA位置にするか露出補正[マイナス補正]をご利用ください。

※露出警告

露出警告は、絞りがA位置のときと同じですから59ページをご覧ください。



マニュアル露出の使い方

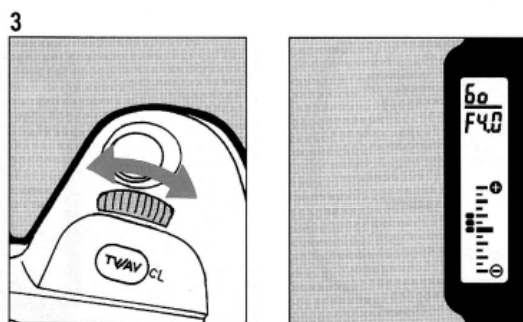
常に同じシャッター速度と絞りの組み合わせで撮影をする場合や、適正露出以外の好みの露出で撮影するときに使います。

絞りをA位置にした場合

1. 電源スイッチを **ON** にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに **M** のマークを出します。

- * 表示パネルにシャッター速度と絞り値およびバーグラフが表示されます。この表示は電源スイッチが **ON** であれば、表示され続けます。
- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内にもシャッター速度、絞り値とバーグラフが表示されます。

61



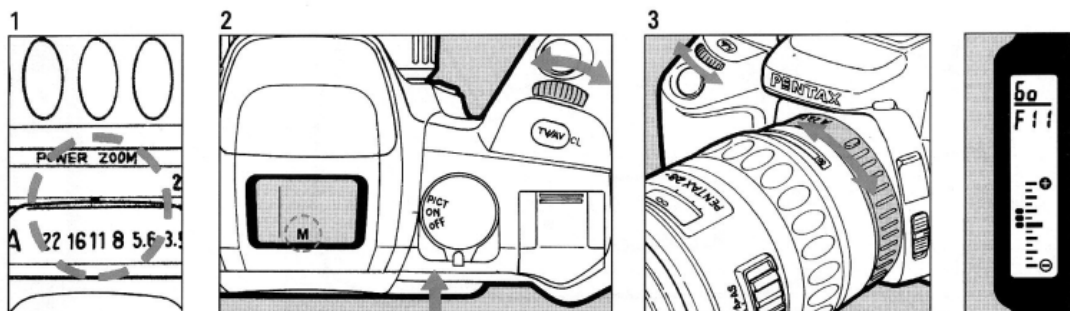
3. セレクトダイヤルで好みのシャッター速度と絞りを選んでください。

- * シャッター速度を変化させたいときは、**Tv/Av** ボタンを押して表示パネルの **Tv** マークの上に **—** を表示させてから、[このときファインダー内のシャッター速度の下にも横棒が表示されます]セレクトダイヤルを回してください。
- 絞り値を変化させたいときは、**Tv/Av** ボタンを押して表示パネルの **Av** マークの上に **—** を表示させてから、[このときファインダー内の絞り値の下にも横棒が表示されます]セレクトダイヤルを回してください。

- * バーグラフの黒丸が **—** 側に並んでいるときは露出がアンダー、**+** 側に並んでいるときは露出がオーバーです。バーグラフの黒丸1個は $1/2$ 段階 [$1/2$ EV] に相当します。ただし、 ± 3 段階 [± 3 EV] を超えてオーバー、アンダーになったときは、**+** あるいは **—** が点滅表示します。

- * **[H]** ハイパーボタンを押すと、表示パネルに **H** が表示されているときは、絞り値が変化して適正露出に、**Av** が表示されているときは、シャッター速度が変化して即座に適正露出が得られます。[ハイパーマニュアル]。
- * **[H]** ハイパーボタンを押すと、表示パネルとファインダー内のバーグラフの中心に黒丸が表示され適正露出を知らせます。
- * マニュアル露出時に **[H]** ハイパーボタンを押したままにしておくと、シャッター速度や絞り値が明るさによって変化しますので、シャッター優先自動露出や絞り優先自動露出と同じ使い方ができます。
- * 写したいものが明るすぎたり暗すぎで、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅したときは、測光範囲外ですから、シャッター速度や絞りを変えても適正露出は得られません。明るいときは、NDフィルター[光量を減らすフィルター]、暗い場合にはストロボなどをご利用ください。

62



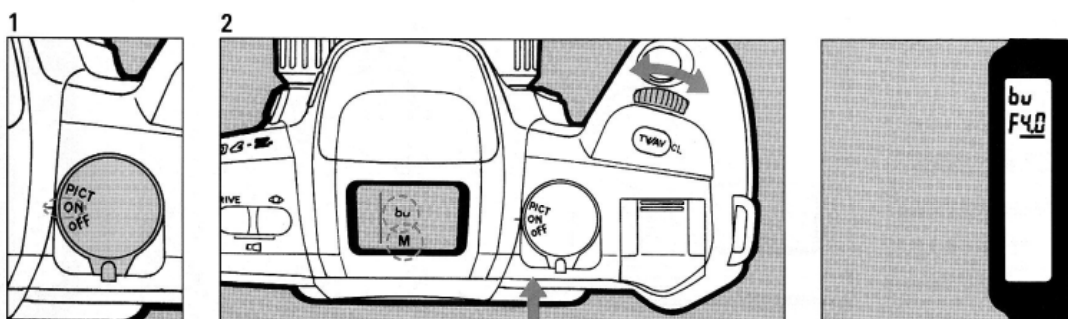
絞りをA位置以外にした場合[電源スイッチはON]でも[PICT]でも結構です]

1. 絞りをA位置以外の好みの位置にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに **M** のマークを出します。
3. 絞りリングで絞りを、セレクトダイヤルでシャッター速度を変えます。

- * 表示パネルにシャッター速度とバーグラフが表示されます。この表示は電源スイッチを **OFF** にしない限り表示され続けます。
- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内にもシャッター速度とバーグラフが表示されます。

- * FAおよびFレンズの場合、シャッターボタンを半押しすると表示パネルとファインダー内に設定絞りの目安表示をします。他のレンズの場合は、表示されません。
- * 露出の合わせ方は、絞りがA位置の場合と同じですが、**ハイパー**ボタンを押したときは常にシャッター速度だけが切り替わります。[ハイパーマニュアル]
- * レンズ情報接点のないレンズ[A・F・FAレンズ以外]では、分割測光にならず中央重点測光になります。
- * Aレンズ50mmF1.2の場合、絞りA位置以外では分割測光にならず中央重点測光になります。また、露出が1～1.5EVオーバーになりますので、絞りをA位置にするか露出補正[マイナス補正]をご利用ください。
- * 露出警告は絞りがA位置のときと同じですから、62ページをご覧ください。

63



バルブの使い方

花火、夜景などの撮影で長時間シャッターを開いておく必要のあるときにご利用ください。シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。

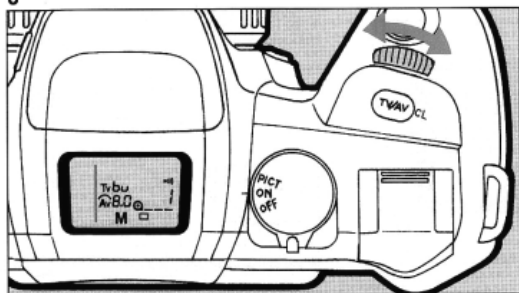
- * 表示パネルに絞り値が表示されます。絞り値は電源スイッチが **ON** であれば表示され続けます。
- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に **bu** と絞り値が表示されます。

絞りA位置の場合

1. 電源スイッチを **ON** にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに **M** と **bu** のマークを出します。



64



3. セレクトダイヤルで絞りを選びます。

- * ファインダー内の絞り値表示の下に横棒が表示されます。
- * バルブで撮影するときは、ぶれ防止のためしっかりした三脚を使用し、別売りの「ケーブルスイッチF」をリリースソケットキャップFを外してからリリースソケットに差し込んでご利用ください。
- * 新品のリチウム電池[常温]で、約12時間の長時間露出ができます。

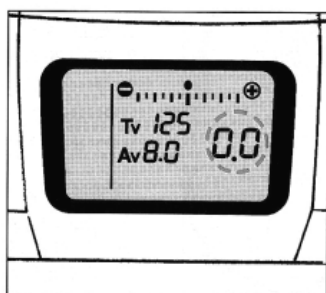
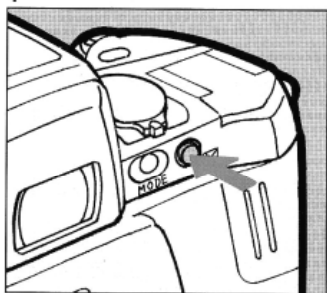
絞りをA位置以外にした場合

1. 電源スイッチを **ON** か **PICT** にします。
2. 絞りをA位置以外の好みの位置にします。
3. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルに **M** と **bu** のマークを出します。

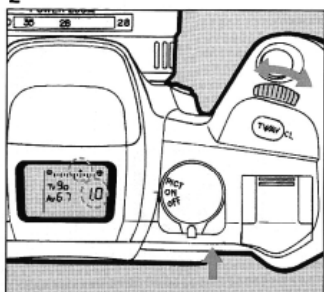
- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に **bu** が表示されます。
- * FAおよびFレンズの場合、シャッターボタンを半押しすると表示パネルとファインダー内に設定絞りの目安表示をします。他のレンズの場合は表示されません。
- * バルブで撮影するときは、ぶれ防止のためしっかりした三脚を使用し、別売りの「ケーブルスイッチF」をリリースソケットキャップFを外してからリリースソケットに差し込んでご利用ください。
- * 新品のリチウム電池[常温]で、約12時間の長時間露出ができます。

(5) 露出補正について

1



2



意図的に露出オーバー[明るい写真]や露出アンダー[暗い写真]にしたいときなどに使います。

1. ハイパーボタン **[H]** を押すと表示パネルに補正值とバーグラフが表示されます。
2. ハイパーボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して希望の補正值を選んでください。

- * 露出補正はグリーンモード、マニュアル露出およびバルブでは使えません。
- * 補正值は、-3 ~ +3 段階[EV]の範囲で0.5段階[EV]ごとに行えます。
- * 露出補正中は補正值が表示パネルとファインダー内のバーグラフに黒丸で表示されます。また、ファインダー内には **[H]** も表示されます。
- * バーグラフの黒丸の移動量1つが0.5段階[EV]に相当します。
- * ハイパーボタンを押しながらTv/Avボタンを押すと、補正值が0になり露出補正は解除されます。
- * 電源スイッチをOFFにしたり、他のモードにしても露出補正は解除されません。